



第11号

# 「めぐみちゃんのまちづくりだより」

～ 市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです ～

西東京市では、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることに  
より、農地の保全を図っていくことを目的に、「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。事  
業の一環として整備された『花摘みの丘』と『農のアカデミー体験実習農園』を活用して、市内  
の農業・農地の魅力にふれあえるイベント「第2回農業わくわく散策会」を10月19日（土）に開催しました。

## 事業の ねらい

花摘みの丘では、  
保谷駅北部エリアの特徴であ  
る花を活かした農園で、市民が  
農の様々な機能にふれあい、農  
への関心を高めてもらいます。

## 事業の 効果

花摘みの丘は、  
小高い丘状の景観を活  
かしながら、市民にとっ  
て愛着のある花とのふれ  
あい拠点となります。

## 農業わくわく散策会

イベント当日は、14名の市民の方が参加しまし  
た。今回のイベントでは、市北部を循環する「はなバ  
ス」第1ルートを活用して、保谷駅北口から「花摘み  
の丘」へ向かいました。「花摘みの丘」は4番北宮ノ  
脇停留所の目の前にあります。

## フラワーアレンジメント教室

「花摘みの丘」では、農園主の本橋さんより「花摘みの丘」で栽培されている花について  
話を聞きました。フラワーアレンジメント教室では、市内で生花店を営む豊田尊さんを講師  
としてお招きし、施設内の花を活用したアレンジメントの指導をしていただきました。



豊田さん作の  
アレンジメント見本(面型)



豊田さん作の  
アレンジメント見本(丸型)



## アレンジメントのポイント

1. 茎についている不要な葉は落とし、茎は斜めに切ることで水の吸い口を広くする。
2. 生ける花は、使用する花器の2倍の長さを目安にする。
3. オアシスに花を生けるときは、なるべく深く（2～3cm）茎を挿すようにする。浅く挿すと水の吸い上げが不十分になりやすい。
4. 主役となる花を決め、フォーカルポイントにする。



## 事業の ねらい

援農ボランティアさんたちにとっては、  
**農を知り、農を学び、農を楽しむ。**  
子どもたちにとっては、  
**農を楽しみ、農に親しむ場**とします。

## 事業の 効果

農のアカデミー体験実習農園では、  
**農の生涯学習を  
目指しています。**



## 秋の収穫体験

フラワーアレンジメント教室が終わると参加者の皆さんは、はなバスに乗って「農のアカデミー体験実習農園」へ向かいました。「農のアカデミー体験実習農園」は、はなバスの「変電所東」で下車して、徒歩2分程度のところにあります。農のアカデミーでは、運営に携わっている援農ボランティアの方2名に協力いただき、秋の収穫体験を行いました。

今回は、援農ボランティアの方々が育てた「水菜」を収穫しました。収穫の前に、援農ボランティアの方々から、ご自身の農業体験や農業に対する思い、農のアカデミー体験実習での活動等についてお話をうかがい、まちの農業の魅力についてご説明いただきました。



いつも何気なく目にしていた市内の農地では、キャベツやダイコンなど色々な作物が育てられています。



水菜がうねをビッシリとおおっています。



大量の水菜にビックリです。

参加者の皆さんは援農ボランティアの方から、美味しい水菜の食べ方などのアドバイスを受けていました。



水菜は、葉を引っ張るとちぎれてしまうので、根っこに近いところから優しく引きぬいてね！

援農ボランティアの方の案内で、圃場で育つ秋作の野菜を見学しました。



こんなにたくさんの水菜がとれました。どんな風に食べましょう？



収穫が終わった後に、皆さんで記念撮影をしました。



水菜の収穫を楽しんだ後は、最終目的地の保谷駅北口へ、はなバスで移動しました。参加者の皆さんは、袋にいっぱい水菜とご自分で作った花のアレンジメントなどを持ち帰りました。今回のイベントでは、「東町商栄会」に協力・協賛をしていただきました。



西東京市では、貴重な農地を残していくために、「東京都農業・農地を活かしたまちづくり事業」を活用した、「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。「花摘みの丘」、「農のアカデミー体験実習農園」は、本事業の支援を受けています。

発行：西東京市  
生活文化スポーツ部  
産業振興課

